

9 価子宮頸がんワクチン（シルガード 9）について

子宮頸がん予防ワクチンのうち、現在、公費で接種できるのは、当院では 4 価ワクチン（ガーダシル）ですが、2023 年 4 月 1 日から、9 価ワクチン（シルガード 9）も公費で接種可能になります。シルガード 9 はガーダシルよりハイリスクのヒトパピローマウイルス（HPV）の感染を広く予防できます。当院でも 4 月から公費でシルガード 9 を接種できます。シルガード 9 を希望する方は 4 月以降の日程でご予約ください。

「よくある質問」

Q1、シルガード 9 とガーダシルの違いは？

HPV は 100 種類以上の遺伝子型があり、そのうち HPV16、18 型の感染が子宮頸がんの原因の 60～70%を占めます。ガーダシルは HPV16、18 型に加え、尖圭コンジローマの主要な原因となる HPV6、11 型を含みます。

シルガード 9 は、上記 4 つの遺伝子型に加え、HPV16、18 型に次いで原因となる HPV31、33、45、52、58 型（約 20%を占める）を含みます。シルガード 9 は子宮頸がんの原因の 80～90%を占める HPV の感染を予防することができます。

Q2、すでにガーダシルを接種しています。残りの回数を接種する時にシルガード 9 を使用できますか？

同じ種類のワクチン（ガーダシル）で接種を完了することを推奨します。これは、ガーダシルでも子宮頸がんにも最も関与の強い型である HPV16/18 型の感染予防に効果があることや、異なる種類のワクチンを接種した場合の有効性と安全性についてのデータが限られていることが理由です。ただし、医師と接種を受ける方等がよく相談した上であれば、シルガード 9 を接種しても差し支えないとされています。

Q3、すでにガーダシルを 3 回接種しています。シルガード 9 を接種した方が良いですか？

ガーダシルで規定の回数の接種が完了している場合、シルガード 9 の追加の接種を推奨していません。これは、ガーダシルでも、子宮頸がんにも最も関与の強い型である HPV16/18 型の感染予防に効果があることや、異なる種類のワクチンを接種した場合の有効性と安全性についてのデータが限られていることが理由です。

Q4、シルガード 9 とガーダシルの副作用の違いは？

シルガード 9 はガーダシルと比較して接種部位の反応（痛み、腫れ等）が多くなることが報告されています。注射部位の反応はシルガード 9 が 90.7%に対しガーダシルは 84.9%の接種者に報告されています。特に約 90%の接種者で痛みが報告されています。注射部位反応以外の副反応（頭痛、発熱、消化器症状、めまい、疲労感等）はガーダシルと同等であると報告されています。

Q5、シルガード 9 とガーダシルの接種スケジュールの違いは？

シルガード 9 はガーダシルと同じ接種スケジュールです（0,2,6 か月）。

《参考資料》

●9 価ヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチン（シルガード 9）について（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/hpv_9-valentHPVvaccine.html

●子宮頸がん と HPV ワクチンに関する正しい理解のために（日本産科婦人科学会）

https://www.jsog.or.jp/modules/jsogpolicy/index.php?content_id=4

2023 年 1 月 30 日現在